

地域における男女共同参画を推進するためのプログラムデザイン

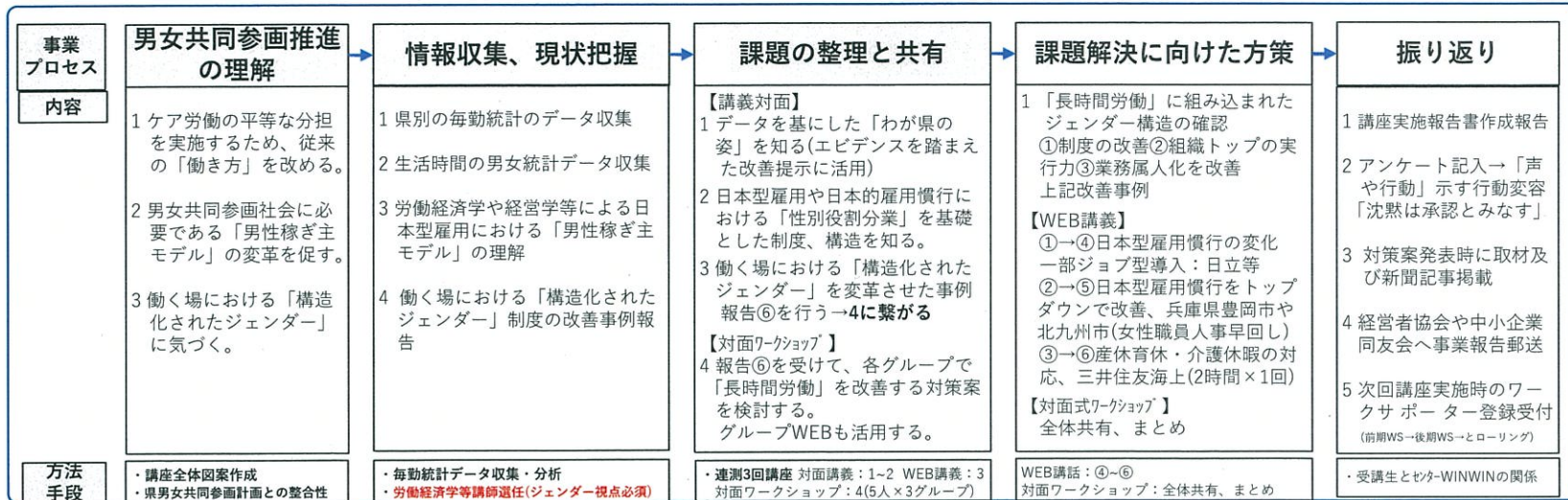
【事業名】 働く場におけるジェンダー構造～意識だけでは変えられない～	【位置づけ】 第6次沖縄県男女共同参画計画 1-1-1「男性向け講座」 2-4-28「ワーク・ライフ・バランス推進事業」、4-2-49「男性向け講座(再掲)」
---	---

問題現状	2001年から2020年までの毎月勤労統計の調査結果から企業規模に関わらず、男女共に勤務日数は減少しているが、所定外労働時間(時間外)は増加している。これは、長時間労働が常態化しており、特に男性の「働き方」は、従来の長時間労働から変化していないという現状である。
-------------	---

課題	日本の雇用慣行の影響である「長時間労働」は、男女共同参画社会を推進する際のネックとなり、家庭における生活時間の平等な負担や性別役割分業意識の改善を阻む作用をする。そのため、個々の意識では解決が困難な「長時間労働」に対する「構造側面」の知識習得が必要と考える。
-----------	---

事業目的 日本型雇用慣行の特徴である「長時間労働」における「男性稼ぎ主モデル」や「メンバースhip型」等、制度の違いを認識し、構造化されたものと気づくこと。	対象 定員	監督職級の15名(可能なら業種を絞って募集)
--	------------------	------------------------

事業目標 ①「長時間労働」に関する改善事例を踏まえ、ワークショップで改善案を提示する。 ②次回講座でのサポーターとして「登録」を行い、行動変容につなげること。	評価 指標	① ワークサポーター登録参加者の20%(3人)、② アンケート記入行動実施参加者の10%(2人)、③講座継続希望者参加者の30%(5人)
--	------------------	--



連携先	公益財団法人おきなわ女性財団 電話:098-868-3717 mail:kouza@okinawajosei.org	期間 回数	【講義】 ①対面：2時間×2回、②WEB(改善事例)：2時間×1回1時間×2回、 【ワーク】 ③対面：3時間、④グループWEB：適宜、【全体まとめ】：2時間
------------	--	------------------	---

予算	事業費：①講師謝礼金55,000円、②費用弁償15,000円、印刷製本費10,000円 ①+②+③ 計 80,000円	実施 体制	主催：沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団
-----------	--	------------------	-----------------------